

食品の エシカル消費

(2025.10.01 進捗状況)

発表者
タイ

スコータイ
タマティラート
オープン大学





食品のエシカル消費

- ❖ 私たちは何をしているのか？ - 実践の進捗状況
 - ❖ 活動: グリーン大学を目指して
 - ❖ 知識の普及
- ❖ 何が障害になっているのか？ - 実践中の問題点
 - ❖ リソース
 - ❖ 意識
- ❖ 次のステップは？ - 提言
 - ❖ 既存のプロジェクトを拡大する
 - ❖ 知識を一般人に広める

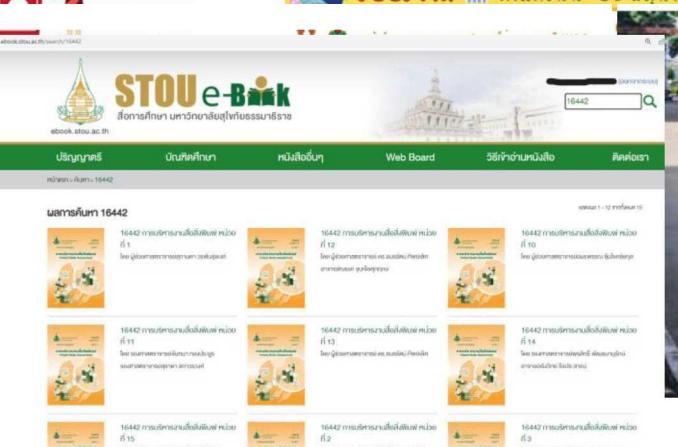
私たちは何をしているのか？



- ❖ 再生可能エネルギー：
電動バス
- ❖ 電子書籍ライブラリを使った
100%オンライン学習
- ❖ 「マイ(容器、ボトル、グラス)
持参」 キャンペーン
- ❖ ゴミの分別・食べ残しは肥料
として利用
- ❖ 不要になったものは
困っている人に寄付



ແຍກ
ຂຢະ
ຄູກັ້ງ
ຄູກສີ



私たちは何をしているのか？



❖ 本学は、2024年「UI GreenMetric World University Ranking」において、世界で最も持続可能な大学ランキングで419位にランクインした

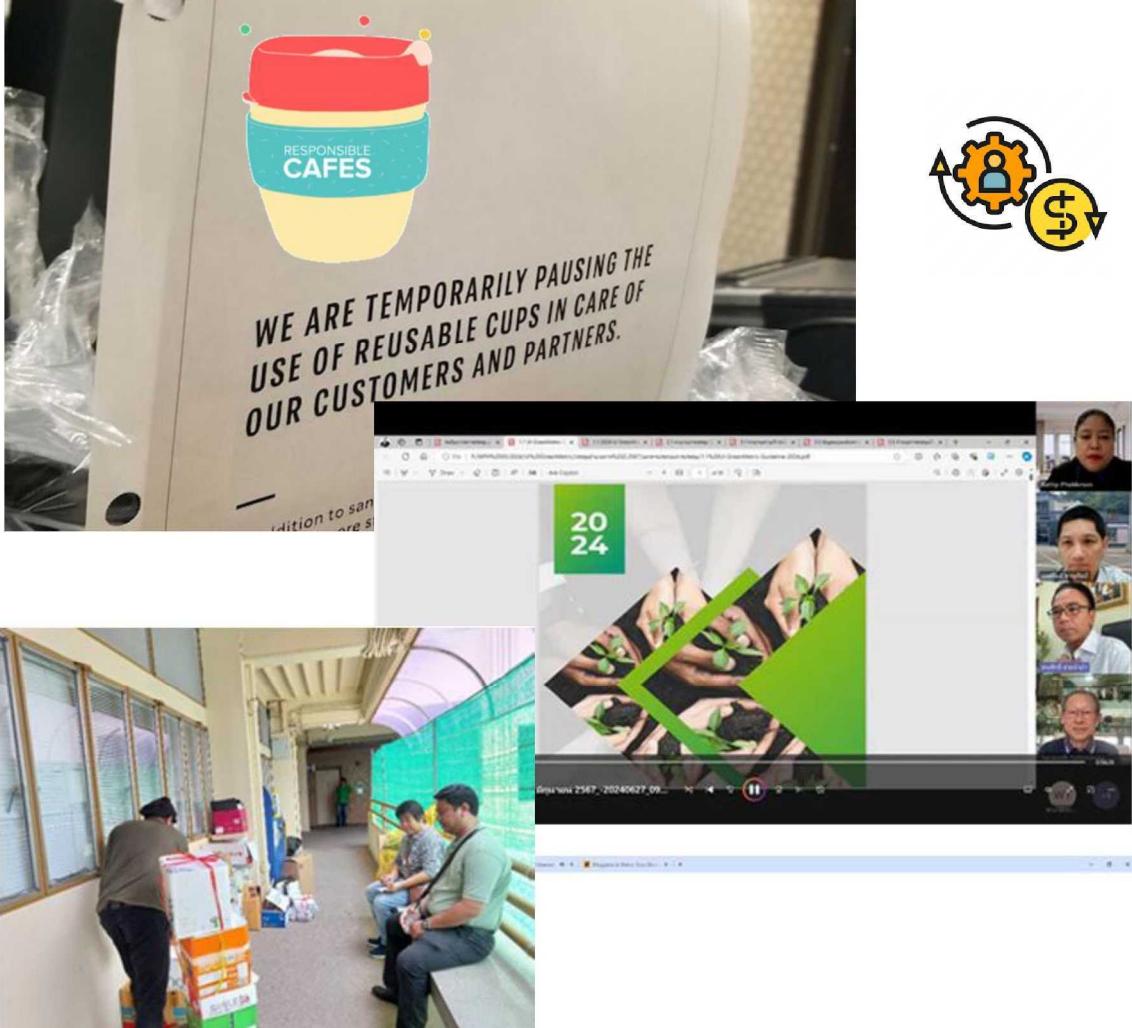


❖ 個人およびオンラインでハンドブックを宣伝する





何が障害になっているのか？



- ❖ 各活動の初期段階、特にインフラ関連のプロジェクトで問題発生
- ❖ 広範な実施の前に、プロジェクト全体が目的に合致していることを確認するためのケーススタディ／試行錯誤
- ❖ キャンペーンや政策を推進するためのマンパワー不足
- ❖ リサイクルまたは再利用された品物や機器の使用に関しては、衛生や健康の問題を懸念する人がまだいる
- ❖ 自分の食べ物の容器を持参したり、ゴミを分別したりするなどの行動を変えるには、さらに時間が必要

次のステップは？

- ❖ グリーン大学を推進する年次キャンペーン
- ❖ 持続可能性とエシカル消費に関する研究を奨励する
- ❖ 大学やオンラインチャネルを通じて一般の人々に伝え、地域における持続可能性とSDGsに関する知識を高める
- ❖ バンコク都庁に対し、インセンティブ制度を活用した家庭ごみ管理に取り組むよう働きかける
- ❖ 進行中
(2025年Q4から2026年Q1
計画予定)



エシカルな未来のために前進し続けよう



チームメンバー:

- ❖ パヌス・イエンヴァラポン
- ❖ ソーンパッカオン・キラティパッテチョ
- ❖ チャニカン・ワッタナワティットクル

指導講師:

プールダパット・ウィモンクナーラック 助教授

